

④新規用途開発開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上。

完全自然放牧で育まれたヤギミルクと牛乳を活用した 乳製品の開発と市場開拓

しあわせ乳業(株)の乳牛の完全自然放牧で得られたノウハウをヤギ酪農へ展開し、グロースパートナーズ(株)の有する食品製造・ブランディング等のノウハウと連携させることにより、ヤギミルクや乳製品の生産から販売まで一貫したビジネスモデルを構築する。

連携体

農林漁業者

しあわせ乳業株式会社(2400001007150) (酪農業)

独自性の高い24時間完全自然放牧のノウハウを有する。主力となる畜種をヤギヘシフトし、他社に先んじて繁殖・飼養・搾乳技術を洗練させることにより、原乳生産量の拡大に取り組んでいく。

中小企業者

グロースパートナーズ株式会社(8040001021711) (経営コンサルタント業)

外食や流通など広範なビジネスの知見を背景に、商品企画やマーケティング・営業を推進する。また、新工場を建設して製造機能も担い、バターやヨーグルトなど純ヤギミルクの製品のほか、牛乳とブレンドして食味を向上させた生クリーム・アイスクリームなど、市場ニーズを見据えた多様な乳製品を供給する。

サポート機関等

(独)中小企業基盤整備機構東北本部

連携の経緯

グロースパートナーズ(株)は、従前からしあわせ乳業(株)の完全自然放牧に対する思いや製品を高く評価し、営業面での連携を行っていた。しあわせ乳業(株)の愛玩用として放牧されていたヤギのミルクを飲む機会があり、牛乳特有のクセがなく美味であることや乳糖が少なくお腹に優しいという特性に市場価値を見出し、本事業に取り組むこととなった。



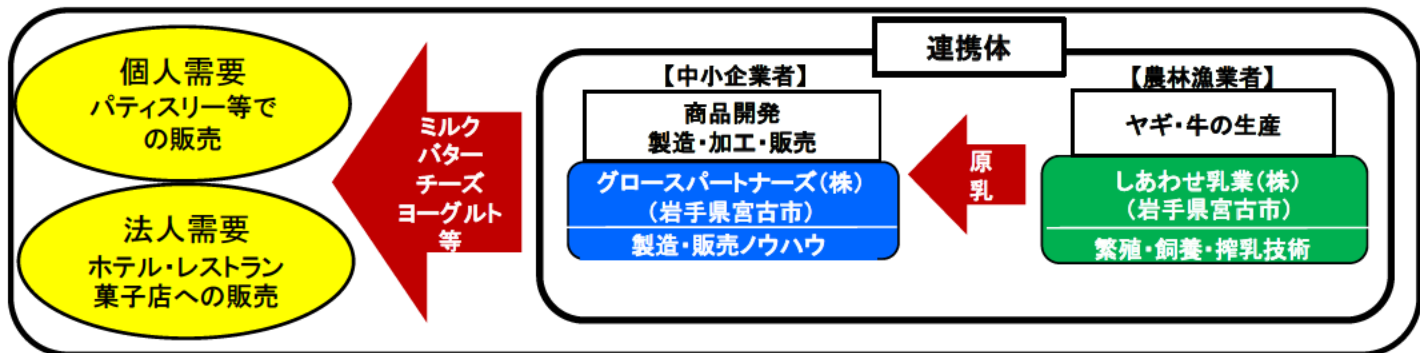
【図1 ブランドを象徴するキャラクター】

連携に当たっての課題や工夫等

販路拡大には製品の安心・安全を担保できる製造工程を確立する必要があるものの、既存工場では生産性や高度な衛生規格への対応に課題を抱えていた。そこで、食品製造ノウハウやチェーンオペレーションのノウハウを有するグロースパートナーズ(株)がHACCPにも対応できる新工場を設置し、しあわせ乳業(株)の自然放牧による生産技術を組み合わせることで、それぞれの強みを活かした事業運営体制を構築し、独自ブランド店舗による大都市圏への展開や法人需要の開拓を目指す。(図1:ブランドを象徴するキャラクター、図2:宮古市で出店した試験店舗)



【図2 試験店舗(宮古市)】



連携による効果

農林漁業者

5年目で149,728千円の売上高、高付加価値原料生産への集中による収益改善

もっとも強みを持つ飼養・繁殖に経営資源を集中させることで、生産性向上・収益改善に大きな効果が期待できる。

中小企業者

5年目で701,622千円の売上高、製造・マーケティング機能強化と首都圏販路の拡大

独自性の高い製品で新たな市場を創出し、売上の増加と収益改善、地域雇用の拡大が期待される。

連絡先

企業等名 : しあわせ乳業株式会社

T E L : 0193-87-5959

E - m a i l : shiawasemilk@shiawase-farm.co.jp

所在地 : 岩手県宮古市田老字小堀内19番地15

F A X : 0193-87-5678

ホームページ : <http://www.shiawase-farm.co.jp>